

# 令和3年度 西東京市立学校 学校経営計画

|     |               |     |       |
|-----|---------------|-----|-------|
| 学校名 | 西東京市立ひばりが丘中学校 | 校長名 | 井上 雅子 |
|-----|---------------|-----|-------|

## 教育理念及び教育目標

「広く国際社会を創造性豊かに たくましく生きる人をめざして」  
身に付けた高い学力と知性、豊かな心を確かなものにし、広く社会に貢献できる人材を育てる学校を創る。

＜教育目標＞

- 自ら学ぶ (問題解決力の育成)
- 豊かな心 (人間関係形成能力の育成)
- 夢の実現 (グローバルに活躍できる実践力の育成)

## 学校の特徴

- 1 伝統に培われた母校愛に基づき、生徒、保護者、卒業生、地域とともに歩む学校
- 2 個に応じたきめ細かい指導に努め、生徒の健全育成を図る学校
- 3 自主・自立の精神に基づき、生徒が主体的な活動を展開する学校
- 4 小学校との接続を重視する学校

## 目指す学校像

(学校像、児童・生徒像、教師像)

【目指す学校像】「地域、保護者の期待に応える学校」

- ・生徒の力を伸ばし、一人一人が主役となる学校
- ・生徒、保護者、地域から信頼を寄せられる学校
- ・組織力が高く、柔軟な対応力や確実な実行力のある学校
- ・新校舎移転と60周年行事に向け、60年の伝統を引き継ぎ、新たな学校の発展の期待に応える学校

【目指す生徒像】「知・徳・体のバランスがとれた生徒」

- ・社会自立に向け、自らを高めていく生徒
- ・授業を大切にし、自ら考え学ぶ生徒
- ・豊かな心を根ざして希望を持ち、夢の実現を目指して未来を切り開く生徒
- ・健康と体力増進に自ら努める生徒

【目指す教師像】「高い人権意識と実践的指導力をもつ教師」

- ・人権意識を高くもち、「西東京市あったか先生」を実践し体罰その他の服務事故ゼロに全力で取り組む教師
- ・学習指導力、生活指導・進路指導力、組織貢献力、外部との連携折衝力をバランスよく高め学び続ける教師
- ・率先垂範し、ともに互いに高めあう教師
- ・働き方改革を実践し豊かな生き方を示すことができる教師

## 学校経営の目標

### 1 中期経営目標（中間的課題）

～西東京市教育計画に基づいた教育の質の向上と活性化～

#### (1) 質の高い授業の展開（「自ら学ぶ」「豊かな心」「夢の実現」）

- ・「主体的、対話的で深い学び」を実現により、生徒の「知識・技能の習得」「思考力・判断力・表現力の育成」「学びに向かう力・人間性の涵養」を図る。
- ・西東京市 GIGA スクール構想の基本方針に従い、一人1台のタブレット等の ICT を活用した授業により生徒の問題解決能力、情報活用能力の育成を図る。
- ・道徳科授業の充実により豊かな心を育む、人権教育を推進する。
- ・総合的な学習の時間の充実により、夢と希望をもち将来を切り開く力を育む。

#### (2) 小中一貫教育の推進とその充実（「自ら学ぶ」「豊かな心」「夢の実現」）

- ・小学校との円滑な接続と学びの連続性を重視した教育課程の編成を行う。

#### (3) 健康でたくましい心と体の育成（「豊かな心」「夢の実現」）

- ・オリンピック・パラリンピック教育を推進する。
- ・自己肯定感が高く意欲的で主体的に行動する生徒及び集団を育成する。

#### (4) 学校組織力の向上

- ・細やかな報・連・相による迅速で的確な対応力のある組織を確立し、関係機関と行動連携を行う。また教員の働き方改革と業務改善を推進する。

### 2 短期経営目標（1に基づく本年度の重点目標）

#### (1) 日々の授業改善による学習指導力の向上。

#### (2) 生徒の学力や規範意識の向上、豊かな心の育成、夢の実現につながる研究。

#### (3) 組織的で確実な生活指導の展開。（的確で丁寧な初期対応と組織的な対応）

#### (4) 協働できる学校体制の整備。（O J Tによる丁寧な人材育成と働き方改革）

## 具体的方策

（短期経営目標を達成するための学校の具体的な取組）

### 1 授業改善（主体的、対話的で深い学びの実現）

- ・一人1台のタブレット等の ICT を効果的に活用し、授業での教材の提示、調べ学習や発表や発信の充実、家庭学習の充実を実現させる。
- ・1単位時間の学習過程で、「西東京市授業スタンダード」を実践し一人1回以上の研究授業を実施し授業改善に取り組む。
- ・道徳授業の充実により自己を大切にし、他者と尊重しあう豊かな心を育む。

### 2 研究奨励事業研究指定校としての成果を活かした小中一貫教育の充実

- ・中原小学校と共に行った研究の成果である「授業スタンダード」の授業改善により9年間の学びの連続性を確立する。
- ・小学生の中学校体験、出前授業や一人一人に丁寧に寄り添う居心地の良い学級づくりで、小学校から中学校への円滑な接続を行う。

### 3 きめ細かい生活指導と外部との連携

- ・生徒一人一人を大切に「西東京あったか先生」を実践し人権教育を推進する。
- ・生活指導部、教育相談、特別支援委員会（校内委員会）による細やかな報・連・相と組織的な指導体制を確立する。外部の機関との行動連携により、生徒の健全育成と、虐待、不登校等の学校不適応の未然防止、早期発見、的確な対応を行う。
- ・新型コロナウイルス感染防止対応において、生徒の安全と健康、学びの保証を実現させるため、柔軟できめ細かな生徒の心と体の支援を行う。
- ・オリ・パラ教育の充実と豊かなスポーツライフのための実践の充実を図る。

### 4 働き方改革による業務改善と地域保護者との共同による学校組織力の向上

- ・新校舎移転、周年行事を生徒会、PTA、おやじの会、同窓会等の組織それぞれと連携し「チームひばり」で取り組み、地域、保護者の「新生ひばりが丘中学校」への期待に応える。
- ・SSS、副校長支援員の効果的な活用と経営支援部の充実による教員の働き方改革による業務改善を推進し、学校の組織力を向上させる。